「小さな親切」運動　函館支部だより
SMALL KINDNESS MOVEMENT

小さな親切

2026（令和8年）
10月1日・発行
No. 92
「小さな親切」運動 函館支部
支部長 小笠原 勇人

事務局 〒040−0061 函館市海岸町9−18
☎0138−84−5396 FAX 84−5397

人と人とのつながりを未来へつなぐ

北海道電力ネットワーク株式会社　道南統括支店長
「小さな親切」運動函館支部　副支部長
越智直哉

「小さな親切」運動函館支部の皆様には、日ごろから地域社会の発展と心豊かなまちづくりのためにご尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

函館支部は昭和四十九年の設立以来、半世紀を超える歴史を重ねてまいりました。「できる親切はみんなでしよう、それが社会の習慣となるように」という理念は時代が変化した現在においても色あせることなく、地域社会を支える大切な道しるべとなっています。

私は本年六月二十五日に道南統括支店長として着任いたしました。着任以来、函館マラソンの応援やロータリークラブ活動、函館港まつりの開幕を飾る八月一日の花火大会を海上自衛隊基地で観覧させていただくなど、多くの皆様と交流する機会に恵まれました。その中で強く感じているのは、この地域には行政、企業、各種団体、ボランティアの皆様が立場の違いを超えて連携し、地域をより良くしていこうとする強い連帯感があるということです。函館の歴史や文化、人の温かさに触れるたび、このまちの魅力と活力を実感しております。

私たち北電グループは、「地域の発展なくして企業の発展なし」という考えのもと、地域との信頼関係を何より大切にしています。私自身も、これからさらに多くの皆さまの交流を深めながら、電力の安定供給という使命を果たすとともに、地域の発展と北電グループ発展に微力ながら貢献してまいりたいと考えております。

当社千歳町の事務所では、社員が毎月、社屋周辺や亀田川沿いの清掃活動を続けています。

一人ひとりができることを無理なく積み重ねることこそ、「小さな親切」の実践であり、地域とのつながりを育む大切な機会になっていると感じています。

人と人とのつながりの大切さは、時代が変わっても変わることはありません。

私たちの仕事もまた、多くの方々の理解と支えによって成り立っています。停電や災害対応の現場でいただく温かな励ましの言葉に、何度も力をいただいてまいりました。「小さな親切」とは、特別なことではなく、こうした相手を思いやる気持ちの積み重ねなのだと思います。

半世紀を超える歴史を持つ函館支部が育んできたこの精神を、次の世代に受け継いでいくことが私たちの役割であり、より良い地域づくりの礎になるものと確信しております。

小さな親切は決して目立つものではありません。しかし、その積み重ねが人と人との信頼を育み、地域を支える力になるものと信じております。

私も副支部長として、また地域に支えられる企業の一員として、皆さまとのつながりを大切にしながら、この運動のさらなる発展に微力ながら尽力してまいります。

結びに、会員の皆さまのますますのご健勝とご活躍、そして「小さな親切」運動函館支部のさらなる発展を心より祈念申し上げます。

日本列島コスモス作戦「街頭啓発・コスモスの種子配布」令和8年6月27日　本町丸井今井交差点付近に於いて

●参加/5団体14名　函館保護司会連合会④・野村不動産函館㈱②・小笠原アカデミー教育振興財団④・㈱ドコモCS北海道南支店②・函館市女性会議②

ほんの少しの声がけから

㈱ドコモCS北海道　北海道南支店

前支店長　長井かおり

転勤で函館に住むようになり約2年になります。知りあいもいない土地での単身赴任で、最初は少し不安もありましたが、地元の方に気軽に声をかけてもらう度に少しずつ地域に馴染めている気がして嬉しく思っています。

スーパーの鮮魚売り場で見慣れない魚の調理方法を教えてもらったり、温泉の湯舟で「こっちの方があったかいよ」と声をかけてもらったり、見ず知らずの方のさりげない一言や優しさに何度も心が温かくなりました。

その恩返しにというほどではありませんが、困っていそうな方を見かけた際には、少しだけ勇気を出して私からも声をかけるようにしています。タッチパネル等の機会の操作で戸惑っている高齢の方や、凍っている雪道で滑りそうになっている方など、本当にささいなお手伝いですが、「ありがとう」と、言われると、こちらが嬉しくなります。

また弊社が毎月行っている会社近隣の清掃活動でも、通りがかった方から「ありがとう」と声をかけていただくことがあり、その一言が大きな励みになります。小さな行動の積み重ねが地域の温かさをつくり、人と人のつながりを深めていくのだと思います。

これからも身近なことから、その輪を広げていけたらと思っています。

※六月三十日付けで転勤「有難うございました」

私と家庭菜園

函館更生保護女性連盟

会長　工藤秀子

我が家の裏の畑は私のオアシスだ。レス解消の畑作業はとても楽しいものつも皆様に話します。作っていないのは米と金ともやしと大笑い。形もサイズも自在、毎日ちょっとの時間でも一廻り、野菜は取り立て新鮮そのもの、無農薬で心、収穫も楽しいが手入れにも力が入りま す。

人間と同じで手をかけると答えてくれる、食するときはこの上ない喜びと幸せ感じる。これからは、枝豆やトウモロコシ、それもコンロに鍋を掛けてから収穫、しくないはずがない、新しい命をいただく私は元気で頑張るのみです。

今年はジャガイモが全滅。畑が大雨でプールになり、きたあかりとメークインが全滅です。芋達にお詫びです。ほかの野菜が何とか頑張って私の食を支えてくれます。新鮮な命を頂きながら、自分の命も大切に、負けずに頑張ろうと思います。

自然との関わりの中で、自分が今すべき事を踏まえ、心の思いをしっかりとし、前に進もうと思う。

野菜を育てる、そして仕事に励みボランティアにも元気で進みます。

社会を明るくする運動

函館地区保護司会

理事・事務局長　菅野寿恵

青少年育成フォーラム

”社会を明るくする運動“の中で

子どもたちは今、どんなことに関心を持ち、どのようなことを考えているのだろうか。

青少年育成フォーラムでは、「少年の主張渡島大会」の入賞者の発表と、彼らの発表をもとに助言者との意見交換が行われます。生徒達が意見を発表するだけでなく、意見交換を通し、生徒それぞれの発表の背景にある思いが引き出されていきます。自身が考えていることがどのように伝わっているのか、文面だけでは伝えきれていない思いもあるでしょう。司会者により助言者と生徒の意見交換が深まっていきます。

もともと少年の主張入賞者の発表の場として、函館市教育委員会から保護司会が引き受け継いだものと聞いておりますが、令和六年度からは、少年の主張の発表だけでなく、中学生が地域と関わって進めている活動の発表も取り上げることになりました。これは子どものうちから地域の一員としての意識を持ってもらう事の大切さを感じていたところ、函館市が進めている「福祉のまちづくり」の中で、地域包括支援センター（以下包括とする）が地域（町会）と中学校を繋ぐ役割も持っていると知り、御協力をいただき「中学生の地域連携活動」としてフォーラムに加わっていただく事が出来たものです。

令和六年度は「地域活動を通して」～中学生にできること～として、生徒が地域と関わるボランティア活動の発表につながりました。七年度は、授業で自分たちの得意なものを発表している中から、「思いがけない地域貢献」として体操を高齢者向けにアレンジしてみると喜んでもらえた事を発表。そして令和八年「私たちに役割」として包括や町会からの働きかけから地域の世代を繋げていこうとの発表。いずれも小さなきっかけから地域との交流につながっております。

私たち保護司が保護観察を担当していると、彼らの人間関係の希薄さを感じます。思いを伝えられる「誰か」、受け止めてくれる「誰か」が側にいたなら、道は違っていたかもしれないと感じております。そんな「誰か」がいてくれて地域のつながりが、犯罪や非行からの立ち直りを支える力となり、犯罪や非行のない安全で安心な社会をつくるものと考えます。

「中学生の地域連携活動」の発表を取り入れた令和六年度から、「小さな親切」運動函館支部のご後援をいただき三年となりました。

中学生の活動が地域のつながりを深める一粒の種をまく活動につながっております。今、中学生たちが「小さなことでも、誰かに喜んでもらうこと、役に立てることがある」と、地域の一員としてかかわっていこうとしております。

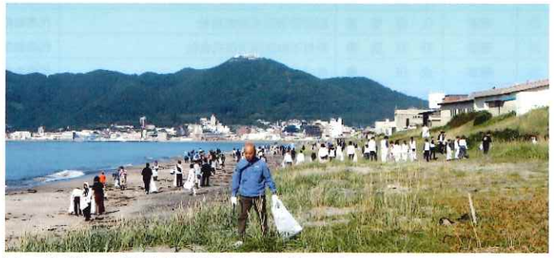
地域のみんなで、小さな一粒の種を受け止め育てていきたいと思うものです。

日本列島クリーン大作戦・大森浜環境美化活動

「小さな親切」運動函館支部<155名参加>令和8年7月4日(土)早朝7:00<主管:函館市土木部公園河川管理課>

「小さな親切」運動函館支部からの参加団体・法人

- ●北海道電力ネットワーク㈱道南統括支店
- ●北海道電力㈱道南統括支社
- ●北海道電力㈱函館水力センター
- ●一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団
- ●野村不動産函館　株式会社
- ●NTT東日本株式会社　北海道南支店
- ●㈱NTT東日本サービス・NTTグループ
- ●NTTドコモCS北海道　北海道南支店
- ●函館保護司会連合会・函館地区保護司会
- ●函館市女性会議
- ●日本郵政グループ　函館中央郵便局
- ●ゆうちょ銀行　●かんぽ生命
- ●日本郵便株式会社　函館東郵便局



石川啄木小公園がある大森浜に集合・1,000人以上の規模での環境美化活動に155名で参加！！

北海道電力ネットワーク㈱道南統括支店

小笠原勇人支部長と函館保護司会連合会

小笠原勇人支部長より紹介で
越智直哉副支部長・新任挨拶

<あいさつ運動>みんなつながろ　トモダチ作戦実施

<活動グッズ提供>
「小さな親切」運動本部

函館市立万年橋小学校（児童数107人）

校長・奥平真紀　　教頭・小酒忠義　　担当教諭・山下義宏

活動主体/児童会役員・生徒全員参加・先生がたの指導

●スローガン

1・2年生　げんきに挨拶！
3・4年生　目を見て　えがおで！
5・6年生　立ち止まり　会釈して！

－継続活動－
朝の登校時、児童会役員が
玄関ホールで呼びかける
「おはようございます」

●工夫を取り入れた取り組み

1対1の挨拶後、児童会役員とじゃんけんをしたり、一人ひとりに声をかけていること。「人に会ったらあいさつをする」全員の取組みです。

活動グッズ提供「小さな親切」運動本部

じゃんけんすることで　相手とのコミュニケーションを図る

「小さな親切」運動函館支部・役員・会員名簿　令和8年10月1日現在

■ 役　員

No.	役員		団体・法人	役職
1	顧問	大泉　潤	函館市	市長
2	顧問	久保俊幸	函館商工会議所	会頭
3	相談役	奥野秀雄	日本赤十字社　函館市有功会	会長
4	支部長	小笠原勇人	一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団	理事長
5	副支部長	越智直哉	北海道電力ネットワーク株式会社道南統括支店	支店長
6	副支部長	木村一雄	公益社団法人北海道私立幼稚園協会道南支部	支部長
7	副支部長	池田延己	学校法人函館大妻学園	理事長
8	理事	宮田　至	函館市　市民部	部長
9	理事	土生明弘	函館市教育委員会　生涯学習部	部長
10	理事	櫻井健治	一般社団法人　函館文化会	会長
11	理事	谷口　諭	函館商工会議所	専務理事
12	理事	入江邦男	一般社団法人　函館青年会議所	第76代理事長
13	理事	勝又真澄	函館保護司会連合会	会長
14	理事	早瀬登喜男	函館市町会連合会	常任理事
15	理事	目黒範一	函館市立小学校・校長会	中島小学校・校長
16	理事	阿蘇一貴	函館市立中学校・校長会	亀田中学校・校長
17	理事	西澤正敬	北海道銀行　函館支店　常務執行役員	函館支店長
18	理事	斉藤直人	青森みちのく銀行　函館地区営業本部長	執行役員　函館営業部長
19	理事	落合良治	はこだてギャラリー株式会社	代表取締役社長
20	理事	泉田　孝	日本郵便株式会社　函館東郵便局	局長
21	理事	三宅大輔	NTT東日本株式会社　北海道南支店	支店長
22	理事	永井　理	㈱ドコモCS北海道　南支店	支店長
23	理事	久保俊彦	函館環境衛生株式会社	代表取締役社長
24	理事	野村辰男	野村不動産函館株式会社	代表取締役社長
25	理事	成田　豊	株式会社　TSCテスコ	代表取締役会長
26	理事	庄司澄枝	龍文堂印刷株式会社	代表取締役社長
27	理事	寺澤十郎	NPO法人函館就労支援事業者機構	会長
28	理事	狄館義雄	函館保護司会連合会	事務局長
29	理事	工藤秀子	函館更生保護女性連盟	会長
30	理事	佐々木俊克	有限会社友輪社	代表取締役社長
31	理事	内村徳蔵	江差追分会　函館声徳会支部	支部長
32	理事	佐々木　香	函館市女性会議	会長
33	理事	齊藤賢一	学校法人　函館大妻高等学校	校長
34	理事	玉利達人	学校法人　函館明照学園（高丘幼稚園）	理事長
35	理事	菅野寿恵	函館地区保護司会	理事・事務局長
36	理事	野口博敏	一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団	評議員
37	常務理事	平野利明	一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団	理事・事務局長
38	理事会計	竹内行雄	一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団	理事・会計
39	監事	齊藤一雄	一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団	監事
40	監事	村田亮二	一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団	監事

■ 会　員

No.	会員／団体・法人・個人	
1	小笠原康正	㈱テーオーホールディングス・代表取締役会長
2	土家康太朗	清尚学院高等学校・理事長
3	田原栄輝	道南うみ街信用金庫・理事長
4	中村昌弘	函館商工信用組合・理事長
5	勝又チカ	函館更生保護女性連盟
6	浅井忠美	函館山ロープウェイ㈱・代表取締役社長
7	中野　恒	五稜郭タワー株式会社・代表取締役社長
8	小笠原勇人	北南機設株式会社・代表取締役社長
9	永澤和枝	函館の街をきれいにする市民運動協議会・会長
10	中田智明	社会福祉法人　函館厚生院・理事長
11	大釜昭太郎	㈱大釜亀光園・代表取締役社長
12	時田　茂	㈱佐々木事業所・代表取締役社長
13	山下拓郎	日商興産株式会社・代表取締役社長
14	今　均	医療法人　大庚会　理事長　今整形外科・院長
15	今　千尋	特別養護老人ホーム　松濤・理事　施設長
16	田中秀樹	国分北海道㈱道央支社函館支店・支店長
17	庭田孝司	函館地区トラック協会・会長
18	勝又　茂	医療法人社団　恵歯会・かつまた歯科・院長
19	小宮山英範	電源開発㈱函館駐在所・事務所長
20	野又　肇	学校法人　野又学園・学園長
21	森川順治	株式会社　森川組　専務取締役
22	深栖久幸	函館更生保護協会
23	岩井勇雄	㈱ダスキン美装・代表取締役社長
24	不破正行	函館中央郵便局・局長
25	長舩浩義	函館創生会　常務理事・巴寮施設長
26	阿部裕太	第一生命保険㈱函館営業オフィス・営業部長

■職　域

●北海道電力ネットワーク株式会社道南統括支店（12）

越智直哉	出倉　到	冨士重之
渡邊真琴	秋山範文	古西宏治
三浦孝幸	竹本巨人	井原信明
中島篤志	大野伸也	寺井武可

●北海道電力株式会社函館支社（4）

本田　徹	三浦洋一	福田悦郎
吉田和仁		

●北海道電力株式会社函館水力センター（1）

藤谷博史

■事務局

平野利明	常務理事（事業担当・事務局長）
竹内行雄	理事（会計担当）

●本部個人正会員（967）小笠原勇人・小笠原アカデミー教育振興財団理事長　●本部団体会員（15255）支部役員40名登録

「小さな親切」運動の概要

「小さな親切」運動は1963年（昭和38年）「東京大学の茅誠司総長の提唱で始まりました。」
スローガンは<できる親切はみんなでしよう・それが社会の習慣となるように>を掲げて発足しました。

運動は感銘を受けた方々によって全国に広がり、函館支部は1974年（昭和49年）に設立いたしました。令和8年には創立52周年を迎えました。

「小さな親切」運動函館支部　令和8年度定時総会　令和8年5月29日　函館新聞社ビル3階会議室に於いて